

科目区分	専門基礎分野			科目番号	0302	曜日時間	月曜日
授業科目	解剖生理学Ⅱ						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1年次前期	授業形態	講義
担当教員	菱川 善隆・ 専任教員						
授業目的	「話す・聞く」「衣類を整える」「食べる」「トイレに行く」ための人体の正常な形態と構造、およびそれぞれの役割とはたらきについて学ぶ。						
授業目標	1. 日常生活行動の「話す・聞く」情報として感覚を司る器官の構造とはたらきについて学び、メカニズムとその役割について理解する。 2. 「衣類を整える」生活行動に関して、生体内外の環境の変化に対する諸臓器の調節機能の構造とはたらきについて学び、メカニズムと日常生活における役割について理解する。 3. 侵入してきた外敵に対する生体防御機構のしくみを学び、メカニズムと日常生活における役割について理解する。 4. 日常生活行動の「食べる」の身体機能として、栄養の摂取から消化・吸収・代謝の器官の構造とはたらきを学び、生命維持における栄養摂取の意義が分かる。 5. 日常生活の「トイレに行く」の身体のはたらきは、「食べる」行動の後の排泄過程に携わる器官の構造とはたらきであることを学び、生命維持に関連していることが分かる。						
授業の内容と方法	回	授業内容		授業方法	時間	担当	備考
	15	「話す・聞く」の機能（情報の受容と処理） G 眼の構造と視覚 H 耳の構造と聴覚・平衡覚 I 味覚と嗅覚と疼痛（痛み） 「衣類を整える」の機能（外部環境からの防御） A 皮膚の構造と機能 B 生体の防御機構 C 体温とその調節 「食べる」の機能（栄養の消化と吸収と代謝） □ B 腹部消化管の構造とはたらき 胃・十二指腸・小腸・大腸 C 膵臓・肝臓・胆嚢の構造とはたらき D 腹膜 「トイレに行く」の機能（体液の調節と尿の生成） A 腎臓 身体構造とはたらき B 排尿路 C 体液の調節 酸塩基平衡・恒常性機能		講義	30	菱川 善隆 ・ 専任教員	
終了後課題							
評価計画方法	筆記試験・授業態度						
テキスト 参考図書	坂井 建雄ほか：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学【電子版】，医学書院 坂井 建雄ほか：解剖生理学ワークブック「系統看護学講座」準拠 佐藤達夫著：からだの地図帳，講談社						
実務歴有	医師						
講義への反映	臨床経験を活かし、解剖学を教授する。						
備考	主に基礎看護技術Ⅰ・Ⅲ・Ⅳと連動させ学習する。（コミュニケーション・清潔・食べる・トイレに行く）						